

# 高市発言・スペイ防止法 どう思う

## ①高市発言について

残念ながら高市氏は外交や経済など複雑な問題解決の意欲も能力もなく、人気取りに励んでいる様子がうかがえます。将来の影響まで考えて発言することは全く期待できません。

害虫と同じで必要なのは防疫です。まとまった人数を移住させないこと、こちらの支持できる人を県、市町村の代議士として選出することが大切だと思います。

②スペイ防止法について

賛否を討論している番組

（了）が扇（せん）と書（か）いてある。高市光に来ましたが、全員高市支持でした。自ら希望して知覧特攻平和会館に行つた直後に中国をあしざまにこき下ろし、制裁を加えるべきと発言しました。「高市さんを悪く言わんといて

と呼び、取りつく島がありませんでした。

いい加減な指導者についていく國民が多數である中指導者の失敗を隠すために

組織化されている米国等と同列に考えることはできないと感じました。また、スパイ行為の定義があいまいで罪法定主義に反し憲法違反になる可能性もあります。

高市という人は一ざもし  
い顔して貰えるものは貰お

スパイ容疑をでつちあげる危険もあります。内容を明確にできない状態での法制化は絶対に反対です。

2年の日中共同声明で「由

卷之三

華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府であることとを承認し、「中華人民共和国政府は、台灣が領土の不可分の一部であり」日本政府は、このことを十分理解し尊重し立場を堅持するとしたのである。したがつて総理の発言はどんでもない中国に対する内政干渉であり直ちに発言を撤回し謝罪すべきであった。

しかし彼女は意固地で優しさもなく平気で嘘もつく国民の迷惑より自分の立場を優先するその頑なさはトランプにも呆れられるほどである。

中国からの旅行客が激減観光業関係者の不安は年を越すだろう。これから中国

高市発言について、3つの事を考えました。

①「台湾有事」って何のことだか、よく知りません。日本にとつての有事ではなく、中国の問題であり、日本が介入すべきことではない点だけは知っています。

ところが総理はそれを日本の有事ととらえた点、明らかに誤りであり、即刻撤回すべきで、中国に謝らなければなりません。

②仮に軍事的行動が台湾で起つたとして、日本が武力で対応する事を口にした点、憲法9条違反の政権であることを見逃さないでください。法治国家でない日本は、外國からは信用されなくなるでしょう。（裏面に続く）

向け輸出も減ることになり、様々な国内生産者も困る。

一方で経済政策の継続は円安傾向に拍車をかけ物価高はさらに続く。この先尖閣諸島などでの小競り合いから戦争につながることも

発行責任者  
戦争しない国づくり応援団  
代表 横山 富美子  
事務所（連絡先）  
〒 899-4304  
霧島市国分清水1丁目22番26  
FAX 0995-47-7176  
メール  
[yokoyama@artikolo.com](mailto:yokoyama@artikolo.com)  
【会員募集中】  
年会費 1,000円



て今回の台湾戦艦は中国と有事発言大きな緊張を招きまだ出

向け輸出も減ることになり、様々な国内生産者も困る。

一方で経済政策の継続は円安傾向に拍車をかけ物価高はさらに続く。この先尖閣諸島などでの小競り合いから戦争につながることも

# 戦争しない国づくり新聞

2025年12月 (第22号)

違憲行為を示す総理では、政治は成り立ちません。衆議院を解散し政権交代するのが、戦争から遠ざかる道だと思います。

③ALPS処理したトリチウム汚染水を海洋放出して後、ヨーロッパや韓国・中国の指導者たちは自国民の健康を心配し、いつそう日本海産物の輸入を制限しました。それは賢明な対応で当然です。年間20兆ベクセルのトリチウムが流される、圧水型原発（加圧水型原発）から海に流されるトリチウムは、年間50～60兆ベクセルです（原子力規制庁）。だから私は川内原発近海の魚は食べないように、と周りの人々に教えています。内部被曝に蓋をして、放射能汚染食品を間違っています。

(横山 富美子)

## 「スパイ防止法」について

考えよう  
「スパイ防止法」について私の知っている事、思つていることについて書きたいと書きました。日本

はスパイ防止法を持たない世紀でも珍しい国と言われてきました。それは「日本国憲法」を「憲法9条」を守るために活動してきた私たちの誇りです。そんな今、国会議員のなかで「スパイ防止法」の議論が進められようとしています。国民は

「スパイ、私は関係ない」と思い、その中身を知らない人が多いのです。政治は多くの国民の知らない事をどんどん進めていきます。私は、私たちがどんな怖い日常を迎えることになるか知つてほしいと思います。スパイ防止法の一番目標とする法令は「軍機秘密違反」です。どんな軍機を持つているのか、大砲は銃器はミサイル配備はどうなっているのか。私も知りたいです。しかしスパイ防止法が制定されると、私が軍機について知りうとしただけで「罪」となり收監されるのです。

（友田良子）

イ防止法違反になることもあります。私たちのあらゆる生活に捜査が及ぶことになります。そして誰が考えてもこれは戦争準備です。

「私に関係ない」と思わず、「スパイ防止法」をしつかりと知りましょう。考え

（友田良子）

（高市政権の台湾政策）

高市政権の「台湾有事」についての発言は国内外で大きな問題となっている。トランプアメリカ大統領との会見に触発されたものか、あるいはもともとの政治姿勢が発現したものか？

①原発の危険性が東北震災で明らかになつたにも関わらず原発政策の推進 ②自衛隊の強化と基地の拡大 ③マスコミによる宣伝 ④軍需産業などの公然化と推進などが強行されている。憲法9条の理念と民意からかけ離れたに高市政権打倒に向けて全国から抗議の声をあげていこう。就任時から危険な政治家とみていたがやはりなどと思わせる行動と発言である。

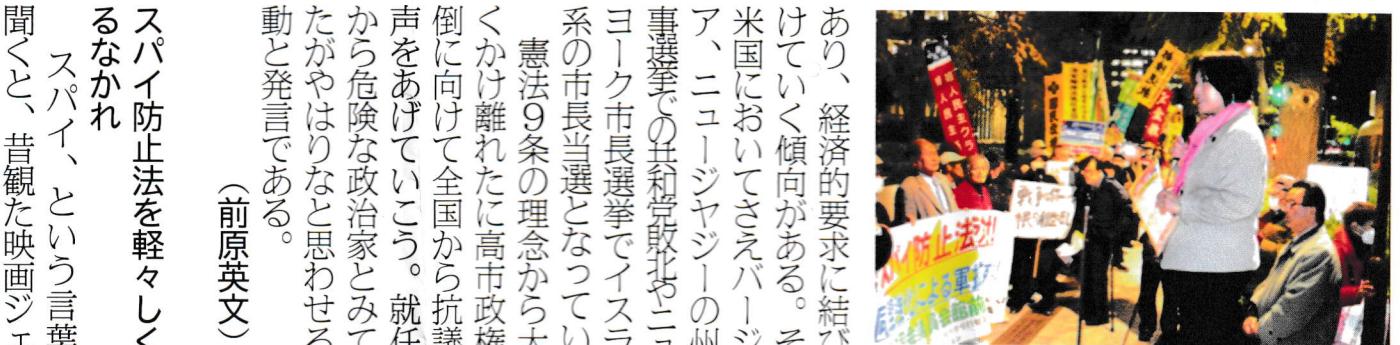
(前原英文)

スパイ防止法を軽々しく語るなかれ

(前原英文)

ムス・ボンドの「007危機一発」を思い出す。それはファンタジーとして楽しかるものだが、まさか国際舞台でスパイの話が出るとは、想像もしなかった。昨今の日本の政治状況を危惧しているが、「スパイ防止法」などと軽々しく発言する政治家たちは、太平洋戦争をファンタジーぐらいに思っているんだろうね。スパイが暗躍する世界はすでに戦争の真つただ中だから、敵を欺くためには味方を欺くことになる。政府や軍の一部の人しか真実は知らされない。敵のスパイだと見られて、牢にぶち込まれたり、秘密裏に殺されるかもしれない。戦争の実態は大量虐殺のウクライナやガザの惨状を見ると一目瞭然。強力な武器を装備した現代の戦争のリアリズムは、何千何万人もの尊い命が失われたことを伝える。その無辜の民の命はもう還つて来ない。子や孫が敵兵だとしても人を殺す「悪」を犯すのを止めなければ。

(河野達人)



11月19日高市発言撤回・抗議行動 (国会前)